

● 採決結果一覧表 ●

議席	氏名	会派	議案第1号	議案第19号	議案第24号	議案第30号	議案第34号	請願第18-2号
1	菅原 由和	爽志	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
2	飯坂 一也	公明	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	反対
3	三ノ宮 治	爽志	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
4	高橋 政一	市民	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
5	佐藤 郁夫	市民	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	反対
6	菊地 孝男	創政	賛成	賛成	反対	反対	賛成	反対
7	千葉 正文	市民	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	反対
9	関 笙子	創政	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
10	加藤 清	爽志	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
11	阿部加代子	公明	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	反対
12	中西 秀俊	創政	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
13	小野寺隆夫	爽志	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
14	菅原 明	共産	賛成	反対	反対	反対	反対	賛成
15	三宅 正克	爽志	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
16	菊池堅太郎	創政	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	反対
17	小野寺 重	創政	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
18	千葉 悟郎	市民	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
19	藤田 慶則	創政	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
20	今野 裕文	共産	賛成	反対	反対	反対	反対	賛成
21	佐藤 邦夫	市民	賛成	賛成	賛成	賛成	反対	反対
22	及川 梅男	爽志	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
23	内田 和良	創政	賛成	賛成	反対	反対	賛成	賛成
24	千田美津子	共産	賛成	反対	反対	反対	反対	賛成
26	遠藤 敏	創政	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
27	佐藤 修孝	政凛	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
28	菊池 嘉穂	政凛	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	反対
29	新田 久治	政凛	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	反対
30	小野 幸宣	創政	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	反対
31	佐藤 克夫	創政	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
32	高橋 瑞男	政凛	反対	賛成	賛成	賛成	反対	賛成
33	及川 善男	共産	賛成	反対	反対	反対	反対	賛成
34	中澤 俊明	無	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成

※議長は採決には加わりません。(議席順。敬称略。)
 ※会派名 創政：創政会、爽志：爽志会、市民：市民クラブ、
 政凛：政凛会、共産：日本共産党、公明：公明党、
 無：無会派

また民間委託することによって、6年間で1億3000万円も高いところに委託をするという本質の問題があることから反対します。

賛成討論 外部委託に関して議会で議論したことは、ご存知のところだと思えます。我々議会は、賛成・反対あった中で、一旦結論が出た場合、そこからスタートしませんが、反対の人はずっと反対、ということとは成り立たないと思いません。

それから1億5000万円安いとだけ言いますが、価格だけの入札ではないということなど、様々な問題はありましたが地元の雇用、経費削減が3000万円程度なっているという観点から賛成します。

反対討論 今議会で明らかになった、給水停止処分について実態をよくわからないまま、機械的になされてきたということが明らかになりました。市民の命を奪いかねない、そういう状況がなされているということでもあります。どんな委託であろうとも、きちんと行政が市民の命を守るといふ点で監視する、一緒にやるといふことが本来求められると思われることから反対します。

議案第34号
奥州市教育委員会の教育長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について
反対討論 奥州市の財政状況が厳

しい中、ハードも含めて相対的な事務事業の見直しも行うという総合的なことが必要であり、報酬等については下げることに是とするものでありません。職員給与削減を労働組合と一回も交渉していないというような状況、あるいは議員の報酬についても全然検討されていないという状況での提案であり、十分検討された中で総合的な視点から提案されるべきものだと思います、現時点で提案はすべきでないとの考えから反対します。

請願第18-2号
「灯油高騰への特別対応」と「福祉灯油」を求める請願(教育厚生常任委員会の審査結果「採択」)に対する討論

反対討論 2007年、2008年と奥州市で行った福祉灯油は国の施策として安定した灯油の供給のための支援策を制度導入したものであり、国2分の1、県4分の1の補助があり、岩手県全市町村が取り組んだものです。今年度の真冬の灯油は2008年の過去最高値より一缶当たり558円安いとされています。現在国、県としても補助制度の考えはなく、市単独で行うにはどの時点で比較するのか、どのくらい補助すべきか、低所得世帯支援をどのように行うのか、灯油代だけでいいのかなど、検討すべき点が多くあります。以上のことから、現時点での福祉灯油の実施は反対であると考え、委員長報告に反対します。

賛成討論 平成21年から3年間の灯油の料金の動向は、常に高止まりの傾向が続いております。必需品である灯油の高騰は市民生活にとつては大変な負担になってくると思えます。特に低所得者や零細中小企業者などあらゆるところにその影響が出るのではないかと心配されます。国保税の値上げや年金給付も下がる一方で、市として市民生活を応援することは当然の前のことであり、社会的、経済的弱者への救済策としての福祉灯油の実施を行うべきと考え、委員長報告に賛成します。